



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS FabricPath の **show** コマンドについて説明します。

show fabricpath conflict

FabricPath ネットワーク内の競合に関する情報を表示するには、**show fabricpath conflict** コマンドを使用します。

```
show fabricpath conflict {all [detail] | link [detail] | switch-id [detail] | transitions
[detail]}
```

構文の説明

all	すべての競合を表示します。
detail	(任意) 詳細を表示します。
link	すべてのリンクを表示します。
switch-id	スイッチ ID を表示します。
transitions	遷移を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath ネットワーク内の競合に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath conflict all detail
No Ports under Fabricpath control
No Switch id Conflicts
No transitions in progress
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show fabricpath ftag

FabricPath FTAG に関する情報を表示するには、**show fabricpath ftag** コマンドを使用します。

show fabricpath ftag

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath FTAG に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath ftag
No ftag values present
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show fabricpath isis

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 隣接データベースを表示するには、**show fabricpath isis** コマンドを使用します。

show fabricpath isis

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS 隣接の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis

Fabricpath IS-IS domain : default
 System ID : 0005.73a3.ba3c IS-Type : L1
 SAP : 432 Queue Handle : 11
 Maximum LSP MTU: 1492
 Graceful Restart enabled. State: Inactive
 Last graceful restart status : none
 Metric-style : advertise(wide), accept(wide)
 Start-Mode: Complete [Start-type configuration]
 Area address(es) :
   00
 Process is up and running
 CIB ID: 4
 Interfaces supported by Fabricpath IS-IS :
 Level 1
 Authentication type and keychain not configured
 Authentication check specified
 MT-0 Ref-Bw: 400000
 Address family Swid unicast :
   Number of interface : 0
   Distance : 115
 L1 Next SPF: Inactive
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。
show running-config fabricpath	FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

show fabricpath isis adjacency

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 隣接データベースを表示するには、**show fabricpath isis adjacency** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis adjacency [interface {ethernet module/slot | port-channel
channel-number} | detail | summary | system-id sid]
```

構文の説明

interface	(任意) インターフェイスのステータスを表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>module/slot</i>	モジュールとスロット番号。モジュール番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
detail	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。
summary	(任意) IS-IS 隣接の概要情報を表示します。
system-id	(任意) システム ID を表示します。
<i>sid</i>	ホスト名または XXXX.XXXX.XXXX 形式のシステム ID。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS 隣接の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis adjacency detail
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis database

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) リンクステート パケット (LSP) データベースの情報を表示するには、**show fabricpath isis database** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis database [l1] [level-1] [mgroup] [detail | summary] [sid]
                               {[zero-sequence] | [router-id] | [adjacency]}
```

構文の説明	
l1	(任意) IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示します。
level-1	(任意) IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示します。
mgroup	(任意) IS-IS GM データベース情報を表示します。
detail	(任意) IS-IS 詳細情報を表示します。
summary	(任意) IS-IS 概要情報を表示します。
sid	(任意) XXXX.XXXX.XXXX.XX-XX の形式の LSP ID。
zero-sequence	(任意) 番号がゼロ シーケンスの LSP を表示します。
router-id	(任意) ルータ ID フィルタを表示します。
adjacency	(任意) 隣接フィルタを表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例 次に、FabricPath IS-IS LSP データベースの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis database
Fabricpath IS-IS domain: default LSP database
  LSPID           Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
  O2-48_Mgmt-2.00-00 * 0x00000008  0x2F9D   1073     0/0/0/1
switch#
```

次に、IS-IS レベル 1 ルーティング リンク ステート データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis database level-1
Fabricpath IS-IS domain: default LSP database
  LSPID           Seq Number  Checksum  Lifetime  A/P/O/T
  O2-48_Mgmt-2.00-00 * 0x00000008  0x2F9D   1041     0/0/0/1
```

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ftag

トポロジのツリーに関連付けられた Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) FTAG 値を表示するには、**show fabricpath isis ftag** コマンドを使用します。

show fabricpath isis ftag [**multidestination** *tree-id*]

構文の説明

multidestination	(任意) マルチデスティネーション情報を表示します。
<i>tree-id</i>	ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS FTAG マルチデスティネーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ftag multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Ftag Database
  Legend: C - Confirmed, T - tentative

MT-0
      PrimaryTree
  Multidestination-2    0 [C]
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis hostname

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ホスト名テーブル情報を表示するには、**show fabricpath isis hostname** コマンドを使用します。

show fabricpath isis hostname [detail]

構文の説明

detail (任意) IS-IS 詳細情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS ホスト名テーブルの情報を表示する例を示します。

```
Switch# show fabricpath isis hostname detail
Fabricpath IS-IS domain: default dynamic hostname table
  Level  LSP ID                Dynamic hostname
  1      0005.73a3.ba3c.00-00*  O2-48_Mgmt-2

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis interface

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) インターフェイスの情報を表示するには、**show fabricpath isis interface** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis interface {brief | ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明

brief	IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポートチャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS インターフェイスに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis interface brief
```

次に、イーサネット インターフェイスの FabricPath IS-IS インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis interface ethernet 1/2
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ip mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) マルチキャスト ルートに関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ip mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ip mroute [vlan vlan-id [group group-id [source source-id]]]
```

構文の説明

vlan	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID です。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
group	(任意) グループ情報を表示します。
<i>group-id</i>	A.B.C.D 形式のグループ ID 情報。
source	(任意) ソース情報を表示します。
<i>source-id</i>	A.B.C.D 形式のソース ID。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS mroute の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip mroute
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ip redistribute mroute

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) 再配布マルチキャスト ルート情報を表示するには、**show fabricpath isis ip redistribute mroute** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ip redistribute mroute [vlan vlan-id [group group-id [source
source-id]]]
```

構文の説明

vlan	(任意) IS-IS VLAN の情報を表示します。
<i>vlan-id</i>	VLAN ID を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
group	(任意) グループ情報を表示します。
<i>group-id</i>	A.B.C.D 形式のグループ ID 情報。
source	(任意) ソース情報を表示します。
<i>source-id</i>	A.B.C.D 形式のソース ID。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS 再配布 mroute 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ip redistribute mroute
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis protocol

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコルの情報を表示するには、**show fabricpath isis protocol** コマンドを使用します。

show fabricpath isis protocol

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS プロトコルの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis protocol

Fabricpath IS-IS domain : default
  System ID : 0005.73a3.ba3c  IS-Type : L1
  SAP : 432  Queue Handle : 11
  Maximum LSP MTU: 1492
  Graceful Restart enabled. State: Inactive
  Last graceful restart status : none
  Metric-style : advertise(wide), accept(wide)
  Start-Mode: Complete [Start-type configuration]
  Area address(es) :
    00
  Process is up and running
  CIB ID: 4
  Interfaces supported by Fabricpath IS-IS :
  Level 1
  Authentication type and keychain not configured
  Authentication check specified
  MT-0 Ref-Bw: 400000
  Address family Swid unicast :
    Number of interface : 0
    Distance : 115
  L1 Next SPF: Inactive
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis route

ユニキャストルートの FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ルーティングテーブルを表示するには、**show fabricpath isis route** コマンドを使用します。

show fabricpath isis route [summary | detail]

構文の説明

summary	(任意) IS-IS 隣接情報のサマリーを表示します。
detail	(任意) IS-IS 隣接の詳細情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、IS-IS ルートの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis route detail
Fabricpath IS-IS domain: default MT-0
Topology 0, Tree 0, Swid routing table

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis rrm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Retransmit-Routing-Message (RRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis rrm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis rrm [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネットインターフェイスの IS-IS RRM 情報を表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 2555、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャネルインターフェイスの IS-IS RRM 情報を表示します。
<i>channel-number</i>	ポートチャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS RRM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis rrm gm ethernet 2/2
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis spf-log

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Shortest-Path-First (SPF) 計算統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis spf-log** コマンドを使用します。

show fabricpath isis spf-log [detail]

構文の説明

detail (任意) IS-IS SPF の詳細情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS SPF の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis spf-log detail
Fabricpath IS-IS domain: default SPF information
Total number of SPF calculations: 1

Log entry (current/max): 1/20
Log entry: 01, Ago: 02:32:37, Date: Tue Oct 25 03:41:00 2011
  Level Instance   Init      SPF      IS Update  URIB Update  Total
  1      0x00000001  0.000062  0.000009  0.000009  0.000009    0.000411
  Level Node Count  Changed Reason
  1      1      2      0      Switch-id updated

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis srm

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Routing-Message (SRM) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis srm** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis srm [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネットインターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャネルインターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポートチャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS SRM の情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis srm gm ethernet 2/2
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis ssn

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) Send-Sequence-Number (SSN) に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis ssn** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis ssn [gm] {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明

gm	(任意) IS-IS GM-Send-Sequence-Number 情報を表示します。
ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャンネル インターフェイスを指定します。
<i>channel-number</i>	ポート チャンネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS Send-Sequence-Number 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis ssn gm port-channel 400
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis statistics

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) プロトコル統計情報に関する情報を表示するには、**show fabricpath isis statistics** コマンドを使用します。

show fabricpath isis statistics

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS プロトコル統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis statistics
Fabricpath IS-IS domain:      default
SPF calculations:            1
LSPs sourced:                 2
LSPs refreshed:              18
LSPs purged:                  0
Buffers U2RIB:                0
Buffers M2RIB:                0
Buffers PIXM:                 0
Swid Updates:                 2
Ftag Updates:                 0

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis switch-id

トポロジ内のスイッチ ID および到達可能性情報を表示するには、**show fabricpath isis switch-id** コマンドを使用します。

show fabricpath isis switch-id

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スイッチ ID データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis switch-id

Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Switch-ID Database
Legend: C - Confirmed, T - tentative, W - swap
        S - sticky, E - Emulated Switch
        '*' - this system
System-ID      Primary  Secondary  Reachable  Bcast-Priority
MT-0
0005.73a3.ba3c* 2590 [C]      0 [C]   Yes        64
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis topology summary

Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) サマリー トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath isis topology summary** コマンドを使用します。

show fabricpath isis topology summary

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS サマリー トポロジの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis topology summary
Fabricpath IS-IS domain: default FabricPath IS-IS Topology Summary
MT-0
  Configured interfaces:
  Number of trees: 2
    Tree id: 1, ftag: 0, root system: 0000.0000.0000, 0
    Tree id: 2, ftag: 0, root system: 0000.0000.0000, 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis traffic

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トラフィックの情報を表示するには、**show fabricpath isis traffic** コマンドを使用します。

```
show fabricpath isis traffic {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

構文の説明

ethernet	イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーン番号およびポート番号。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
port-channel	ポートチャネル インターフェイスを表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャネル番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS トラフィックの情報を表示する例を示します。

```
switch1# show fabricpath isis traffic
Fabricpath IS-IS domain: default
Fabricpath IS-IS Traffic:
PDU           Received          Sent  RcvAuthErr  OtherRcvErr  ReTransmit
P2P-IIH       0                  0      0            0             n/a
CSNP          0                  0      0            0             n/a
PSNP          0                  0      0            0             n/a
LSP           0                  0      0            0             0
```

switch#

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis trees

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ツリーの情報を表示するには、**show fabricpath isis trees** コマンドを使用します。

show fabricpath isis trees [multidestination tree-id]

構文の説明

multidestination	(任意) マルチデスティネーション情報を表示します。
tree-id	ツリー ID。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS ツリー マルチデスティネーションを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis trees multidestination 1
Fabricpath IS-IS domain: default
Note: The metric mentioned for multidestination tree is from the root of that tree to that switch-id

MT-0
Topology 0, Tree 1, Swid routing table

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath isis vlan-range

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジ内の VLAN を表示するには、**show fabricpath isis vlan-range** コマンドを使用します。

show fabricpath isis vlan-range

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath IS-IS トポロジ内の VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath isis vlan-range
Fabricpath IS-IS domain: default
MT-0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show fabricpath load-balance

FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance** コマンドを使用します。

show fabricpath load-balance

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

管理者権限のないユーザは **show fabricpath load-balance** を実行できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath ロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance
ECMP load-balancing configuration:
L3/L4 Preference: Mixed
Hash Control: Symmetric
Rotate amount: 7 bytes
Use VLAN: TRUE

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath load-balance	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。

show fabricpath load-balance multicast

マルチキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance multicast** コマンドを使用します。

show fabricpath load-balance multicast ftag-selected vlan *vlan-ID* macg *MAC-addr*

構文の説明

ftag-selected	FabricPath FTAG のマルチキャスト ロードバランシング パラメータを表示します。
vlan <i>vlan-ID</i>	FabricPath VLAN のロードバランシングを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
macg <i>MAC-addr</i>	マルチキャスト グループの MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。形式は EEEE.EEEE.EEEE です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、マルチキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance multicast ftag-selected vlan 10 macg 0100.5E10.1010
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath load-balance	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。

show fabricpath load-balance unicast

ユニキャスト ロードバランシング スキームの FabricPath ロードバランシング情報を表示するには、**show fabricpath load-balance unicast** コマンドを使用します。

```
show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag ftag-ID switchid switch-ID
src-mac MAC-addr dst-mac MAC-addr [dst-ip ip-addr] [dst-ipv6 ipv6-addr]
[l4-dst-port l4-dest-port] [l4-src-port l4-src-port] [src-ip ip-addr] [src-ipv6 ipv6-addr]
[vlan vlan-ID]
```

構文の説明

forwarding-path	パケットを転送する FabricPath を識別します。
ftag ftag-ID	FabricPath FTAG のロードバランシング パラメータを表示します。FTAG 値は 0 ~ 4,294,967,295 です。
switchid switch-ID	特定の FabricPath スイッチ ID のロードバランシング パラメータを表示します。スイッチ ID は 0 ~ 4,294,967,295 です。
src-mac	送信元 MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<i>MAC-addr</i>	MAC アドレス。形式は EE:EE:EE:EE:EE:EE です。
dst-mac	宛先 MAC アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
dst-ip	(任意) 宛先 IPv4 アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
<i>ip-addr</i>	IPv4 アドレス。形式は、A.B.C.D です。
dst-ipv6	(任意) ロードバランシング宛先ハッシュ パラメータを表示します。
<i>ipv6-addr</i>	IPv6 アドレス。形式は EE:EE::EE:EE です。
l4-dst-port l4-dest-port	(任意) ハッシュに使用される宛先 TCP または UDP ポート情報を表示します。指定できるポート番号は 0 ~ 65535 です。
l4-src-port l4-src-port	(任意) ハッシュに使用される送信元 TCP または UDP ポート情報を表示します。指定できるポート番号は 0 ~ 65535 です。
src-ip	(任意) 送信元 IPv4 アドレスのロードバランシング パラメータを表示します。
src-ipv6	(任意) ロードバランシングの送信元のハッシュ パラメータを表示します。
vlan vlan-ID	(任意) FabricPath VLAN のロードバランシング情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、ユニキャストロードバランシングスキームの FabricPath ロードバランシング転送情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag 1 switchid 200 src-mac
00:10:20:30:40:50 dst-mac 00:30:40:50:60:70 vlan 200
```

次に、ユニキャストロードバランシングスキームの FabricPath ロードバランシングハッシュ情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath load-balance unicast forwarding-path ftag 1 switchid 232 src-mac
0000.1234.5678 dst-mac 0000.3452.4567 src-ipv6 12:34::56:78 dst-ipv6 01:34::56:78
14-dst-port 100 14-src-port 435 vlan 200
Missing params will be substituted by 0's.
```

```
crc8_hash: 229
This flow selects interface Po400
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath load-balance	FabricPath ロードバランシングパラメータを表示します。

show fabricpath route

FabricPath ルート情報を表示するには、**show fabricpath route** コマンドを使用します。

```
show fabricpath route [detail [hex] | hex | topology {topology_ID [switchid switch-ID] |
all} [detail | hex]]
```

構文の説明

detail	(任意) 詳細情報を表示します。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。
topology topology_ID	(任意) トポロジ情報を表示します。トポロジ値は 0 ~ 63 です。
switchid	(任意) スイッチ ID を表示します。
switch-ID	スイッチ ID 値。指定できる範囲は 0 ~ 16383 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath のルートに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route detail
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id

FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default
0/2590/0, number of next-hops: 0
    via ---- , [60/0], 0 day/s 02:57:18, local
switch#
```

次に、FabricPath ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath route
FabricPath Unicast Route Table
'a/b/c' denotes ftag/switch-id/subswitch-id
'[x/y]' denotes [admin distance/metric]
ftag 0 is local ftag
subswitch-id 0 is default subswitch-id
```

■ show fabricpath route

```
FabricPath Unicast Route Table for Topology-Default  
0/2590/0, number of next-hops: 0  
    via ---- , [60/0], 0 day/s 02:58:05, local  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show fabricpath switch-id

FabricPath スイッチ ID を表示するには、**show fabricpath switch-id** コマンドを使用します。

show fabricpath switch-id [local]

構文の説明	local (任意) ローカル スイッチの ID 情報を表示します。
--------------	---

コマンドデフォルト	なし
------------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

コマンド履歴	<table border="1"> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> <tr> <td>5.1(3)N1(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </table>	リリース	変更内容	5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。				

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。
-------------------	---------------------------------------

例	次に、FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。
----------	------------------------------------

```
switch# show fabricpath switch-id
                        FABRICPATH SWITCH-ID TABLE
Legend: '*' - this system
=====
SWITCH-ID      SYSTEM-ID      FLAGS      STATE      STATIC      EMULATED
-----+-----+-----+-----+-----+-----
*2590          0005.73a3.ba3c  Primary    Confirmed  No          No
Total Switch-ids: 1
O2-48_Mgmt-2 (config)#
O2-48_Mgmt-2 (config)# show fabricpath s?
  switch-id  Switch ID
  system-id  System-id

switch#
```

次に、ローカル FabricPath スイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath switch-id local
Switch-Id: 2590
System-Id: 0005.73a3.ba3c
switch#
```

関連コマンド	<table border="1"> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>fabricpath switch-id (FabricPath)</td> <td>FabricPath スイッチ ID を表示します。</td> </tr> </table>	コマンド	説明	fabricpath switch-id (FabricPath)	FabricPath スイッチ ID を表示します。
コマンド	説明				
fabricpath switch-id (FabricPath)	FabricPath スイッチ ID を表示します。				

show fabricpath system-id

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示するには、**show fabricpath system-id** コマンドを使用します。

show fabricpath system-id {*mac-address*}

構文の説明

mac-address MAC アドレス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、システム ID ごとに FabricPath ネットワークの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath system-id 0005.73a3.ba3c
Switch-Id: 2590
State: Confirmed
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定の情報を表示します。

show fabricpath timers

システム ID ごとに FabricPath ネットワークの allocate-delay タイマー、linkup-delay タイマー、および transition-delay タイマーの設定を表示するには、**show fabricpath timers** コマンドを使用します。

show fabricpath timers

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath タイマーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath timers
Allocate Delay Timer      : 10
Transition Delay Timer    : 10
Link-up Delay Timer       : 10
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath timers	FabricPath タイマーを設定します。

show fabricpath topology

FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) トポロジの情報を表示するには、**show fabricpath topology** コマンドを使用します。

```
show fabricpath topology [topology-ID {ftag [active | multicast | unicast] | interface
[ethernet slot/port | port-channel channel-number] | vlan [active]} | detail | ftag
[active | multicast | unicast] | interface [ethernet slot/port | port-channel
channel-number | vlan [active]] | vlan [active]]
```

構文の説明

<i>topology-ID</i>	FabricPath トポロジ ID。指定できる範囲は 0 ～ 63 です。
detail	(任意) FabricPath トポロジ詳細情報を表示します。
ftag	(任意) グラフの転送タグ (FTAG) を表示します。
active	(任意) アクティブ マルチキャスト FTAG を表示します。
multicast	(任意) マルチキャスト FTAG を表示します。
unicast	(任意) ユニキャスト FTAG を表示します。
interface	インターフェイス トポロジ情報を表示します。
ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスを表示します。
<i>slot/port</i>	スロットまたはシャーシ番号およびポート番号。スロット番号は 1 ～ 255、ポート番号は 1 ～ 128 です。
port-channel	(任意) ポートチャンネル インターフェイス番号を表示します。
<i>channel-number</i>	ポート チャンネル番号。指定できる範囲は 1 ～ 4096 です。
vlan	(任意) レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、レイヤ 2 トポロジの VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 vlan
Topo-Description      TPG-ID      Configured VLAN List
-----
0                      0           1-4095
switch#
```

次に、インターフェイス トポロジ情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 interface
```

次に、アクティブ マルチキャスト FTAG を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology 0 ftag
```

次に、FabricPath トポロジのインターフェイス VLAN を表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath topology interface ethernet 2/1 vlan
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

show feature-set

スイッチのすべてのフィーチャ セットのステータスを表示するには、**show feature-set** コマンドを使用します。

```
show feature-set [services feature-set-name]
```

構文の説明

services	フィーチャ セットに関連付けられたサービスを表示します。
<i>feature-set-name</i>	サービスまたはフィーチャ セットの名前。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、フィーチャ セットの状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature-set
Feature Set Name      ID      State
-----
fabricpath            2       enabled
virtualization       4       uninstalled
switch#
```

次に、FabricPath フィーチャ セットに関連付けられたサービスを表示する例を示します。

```
switch# show feature-set services fabricpath
u2rib
drap
isis_fabricpath
3 services in feature set fabricpath
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature-set fabricpath	スイッチで FabricPath フィーチャ セットをイネーブルにします。

show mroute

レイヤ 2 (I2) または FabricPath のマルチキャスト ルート データベースを表示するには、**show mroute** コマンドを使用します。

```
show {I2 | fabricpath} mroute {[vdc_omf] | [vlan vlanid] {[[omf] | [flood] | [source
srcaddr | ipv6srcaddr]}] [group {groupaddr | ipv6groupaddr}]} [resolved] [ftag
ftag-id] [hex]}
```

構文の説明

I2	レイヤ 2 情報を表示します。
fabricpath	FabricPath 情報を表示します。
vdc_omf	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) の Optimized Multicast Flooding (OMF) のルートを表示します。
vlan	(任意) VLAN ID を表示します。
<i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
omf	(任意) VLAN OMF ルートを表示します。
flood	(任意) VLAN のフラッディング ルートを表示します。
source	(任意) 送信元 IP アドレスを表示します。
<i>srcaddr</i>	IPv4 送信元アドレスです。
<i>ipv6srcaddr</i>	IPv6 送信元アドレスです。
group	(任意) グループ アドレスを表示します。
<i>groupaddr</i>	IPv4 グループ アドレス。
<i>ipv6groupaddr</i>	IPv6 グループ アドレス。
resolved	(任意) インターフェイスの基となるネクスト ホップの解決済みスイッチ ID を表示します。
ftag	(任意) FTAG 番号を表示します。
<i>ftag-id</i>	転送タグ (FTAG) ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注) I2 と FabricPath は互いに置き換えて使用できます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath マルチキャスト ルート データベース内の VLAN のフラッディング ルートを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath mroute flood
```

次に、インターフェイスの基となるネクスト ホップの解決済みスイッチ ID を表示する例を示します。

```
switch# show l2 mroute resolved
```

関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath load-balance	FabricPath ロードバランシング パラメータを表示します。
show running-config fabricpath	現在の FabricPath 設定を表示します。

show multicast trees

レイヤ 2 (l2) または FabricPath マルチキャスト ツリー データベースを表示するには、**show multicast trees** コマンドを使用します。

```
show {l2 | fabricpath} multicast trees [topo topo-id] [ftag ftag-id] [hex]
```

構文の説明

l2	レイヤ 2 情報を表示します。
fabricpath	FabricPath 情報を表示します。
topo	(任意) トポロジ インスタンスを表示します。
<i>topo-id</i>	トポロジ ID。指定できる範囲は 0 ~ 64 です。
ftag	(任意) FTAG 番号を表示します。
<i>ftag-id</i>	転送タグ (FTAG) ID。指定できる範囲は 1 ~ 1024 です。
hex	(任意) スイッチ ID を 16 進数で表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath マルチキャスト ツリー データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fabricpath multicast trees
```

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリーの FTAG 番号を表示する例を示します。

```
switch# show l2 multicast trees ftag 1
```

次に、レイヤ 2 マルチキャスト ツリー データベースを表示する例を示します。

```
switch# show l2 multicast trees
```

関連コマンド

コマンド	説明
show l2 route	FabricPath ルート情報を表示します。
show fabricpath route	FabricPath ルート情報を表示します。

show running-config fabricpath

FabricPath の実行システム コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config fabricpath** コマンドを使用します。

show running-config fabricpath [domain default | switch-id | topology] [all]

構文の説明

domain	(任意) FabricPath Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) ドメインの設定情報を表示します。
default	(任意) FabricPath IS-IS のデフォルトの FabricPath ドメイン情報を表示します。
switch-id	(任意) FabricPath スイッチ ID の設定情報を表示します。
topology	(任意) FabricPath トポロジ情報を表示します。
all	(任意) デフォルト値を含む、実行コンフィギュレーションを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、FabricPath 実行システム コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fabricpath

!Command: show running-config fabricpath
!Time: Tue Oct 25 07:55:05 2011

version 5.1(3)N1(1)
install feature-set fabricpath
feature-set fabricpath

vpc domain 1
fabricpath domain default

switch#
```

| 関連コマンド

コマンド	説明
fabricpath domain default	FabricPath Layer 2 IS-IS をイネーブルにします。

■ show running-config fabricpath